

# 入院医療費が小学校卒業まで無料に

## 日本共産党福岡市議団



他党派からの質問に答弁する宮本秀国議員＝3月25日

福岡市の予算議会は3月26日、入院の医療費無料化の対象を現行の就学前から小学6年生まで拡大する条例案を日本共産党も含め賛成多数で可決しました。吉田宏市長が拒否権の行使を断念したため、条例の成立が確定し、来年1月末までに実施されます。また一つ、市民要求が前進します。

### 論戦をリードした共産党

市長は「入院の小学3年生まで」の条例案を提案。これに対し、日本共産党と自民党がそれぞれ修正案を提出し、子どもの医療費無料化をめぐる論戦が繰り広げられました。

日本共産党の倉元達朗市議は19日の条例予算特別委員会総会で、医療費の負担に苦しむ親の声を紹介し、「市長提案は一步前進だが不十分」と指摘。25日には中山いくみ市議が修正案の提案説明に立ち、「入院・通院とも義務教育期間である中学卒業まで無料にすべきだ」と述べ、賛同を呼びかけました。党市議団は財源論でもリードしました。中学卒業まで拡大した場合の追加分約10億円の財源を確保するため大型開発事業の凍結などを求める

新年度一般会計予算案の組替え動議を提出しました。

### 民主、社民が反対

自民党は「入院の小学6年生まで」の修正案を提出しました。与党・民主党は両修正案に反対し、「修正案は手続きに疑義がある」「大型開発予算は削除すべきでない」と批判しました。

日本共産党は「無料化拡大の財源を作り出す真剣な取り組みが必要。税金の使い方を変えればできる」と明快に答弁しました。

25日の採決では、まず共産党案が賛成少数で否決されました。次に採決された自民党案に共産党、公明党、ネットワークが賛成し、修正済みの条例案が26日の本会議で可決されました。

### さらに前へ

日本共産党は討論で「現行制度より前進させる議案に賛成する。建設的野党として、子どもの医療費無料化をはじめ市民要求を一步でも二歩でも前に進めるためにさらに奮闘する」と述べました。

市長は自らの案が修正されたことを「残念だ」と述べ、拒否権を行使して臨時議会を招集して再議にかけることも検討すると表明していましたが、30日の記者会見で断念することを明らかにしました。

